

1 家庭生活について

問 1 あなたの家庭では次のことがらを、主にどなたが行っていますか。

（ア～オのそれぞれについて、当てはまる「1～6」に○を1つ）

	主に自分	主に配偶者 又はパートナー	主にその他の家族	家族で分担している	家族以外 （行政や民間のサービス を含む）	行っていない
例：炊事・洗濯・掃除などの家事	①	2	3	4	5	6
ア. 炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	4	5	6
イ. 町会・自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6
ウ. 育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5	6
エ. 子どもの学校行事への参加	1	2	3	4	5	6
オ. 親や家族の介護	1	2	3	4	5	6

問 1-1 【問 1 のア～オで「5 家族以外」を選んだ方のみご回答ください】ア～オのような家事を行っている方について、具体的にご記入ください。

ア：	_____
イ：	_____
ウ：	_____
エ：	_____
オ：	_____

問2 【現在、2人以上でお住まいの方のみご回答ください】新型コロナウイルス感染拡大の影響により、在宅時間に変化はありましたか。 (それぞれ〇は1つ)

あなた (回答者本人)	自分以外の家族 (同居人)
1. 以前に比べて増えた	1. 以前に比べて増えた
2. 以前と変わらない	2. 以前と変わらない
3. 以前に比べて減った	3. 以前に比べて減った

問3 【現在、2人以上でお住まいの方のみご回答ください】あなたは、新型コロナウイルス感染拡大以降、以前より家事の量に変化はありましたか。 (〇は1つ)

1. 増えた	2. 変化なし	3. 減った
--------	---------	--------

問3-1 【家事の量が減った方 (問3で3を選んだ方)のみご回答ください】それはなぜですか。自由にお書きください。

【例：「第三者が家事を担うようになったから。」「家にいる時間が減ったから。」など】

問3-2 【家事の量が増えた方 (問3で1を選んだ方)のみご回答ください】自身の家事の負担は増えたと感じますか。 (〇は1つ)

1. 増えた	2. 変化なし	3. 減った
--------	---------	--------

問4 最近では、家庭のあり方が大きく変化しており、結婚や出産、男女の役割などに対する考え方も多様化してきています。次にあげる (ア) ~ (カ) の考え方について、あなたはどのように思いますか。 (ア~カのそれぞれについて、あてはまる「1~5」に〇を1つ)

	そう思う	そう思う どちらかといえば、	どちらかといえば、 そう思わない	そう思わない	わからない
ア. 結婚する、しないは個人の自由である	1	2	3	4	5
イ. 「結婚しても子どもは持たない」というのも選択の一つだ	1	2	3	4	5
ウ. 「男は仕事、女は家庭」という考え方には共感する	1	2	3	4	5
エ. 結婚生活に問題があれば離婚してもよい	1	2	3	4	5
オ. 結婚に国籍の違いは関係ない	1	2	3	4	5
カ. 同性同士のカップルを尊重する	1	2	3	4	5

2 保育・教育について

問5 文京区では、区立の保育園・幼稚園・小学校・中学校の保育や教育の現場において男女平等参画を推進するためにはどのようなことに力を入れればよいと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---|---|
| 1. 男女平等の意識を育てる保育・授業をする | |
| 2. 人権尊重の意識を育てる保育・授業をする | |
| 3. 日常の保育、生活指導や進路指導において、子どもが男女の区別なく能力を生かせるように配慮する | |
| 4. 教材等に関して、性により固定化された男女の役割や特性についての記述がないか、男女平等の観点から見直す | |
| 5. 教職員等への男女平等研修を充実する | |
| 6. 性暴力やハラスメントに関する相談窓口を設置する | |
| 7. 管理職(校長・副校長)に女性を増やしていく | |
| 8. その他(具体的に |) |
| 9. 分からない | |

3 男女平等への関心と意識について

問6 あなたは、以下の面で女性と男性が平等になっていると思いますか。次の(ア)～(ク)のそれぞれについて、あなたの感じ方に近いものを選んでください。

(ア～クのそれぞれについて、当てはまる「1～6」に〇を1つ)

	女性の方が優遇されている	どちらかといえば、女性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば、男性の方が優遇されている	男性の方が優遇されている	分からない
ア. 家庭生活では	1	2	3	4	5	6
イ. 職場では	1	2	3	4	5	6
ウ. 学校教育では	1	2	3	4	5	6
エ. 地域活動・社会活動では	1	2	3	4	5	6
オ. 政策や方針決定の参加では	1	2	3	4	5	6
カ. 法律や制度では	1	2	3	4	5	6
キ. 社会通念、慣習、しきたりでは	1	2	3	4	5	6
ク. (ア)～(キ)の全体では	1	2	3	4	5	6

問7 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

(ア～タのそれぞれについて、当てはまる「1～3」に○を1つ)

	内容を知っている	聞いたことはあるが、内容は知らない	知らない
ア. ジェンダー平等	1	2	3
イ. SOGI (性的指向・性自認)	1	2	3
ウ. LGBT (性的マイノリティ)	1	2	3
エ. アウティング	1	2	3
オ. ドメスティック・バイオレンス (DV)	1	2	3
カ. デートDV	1	2	3
キ. リプロダクティブ・ヘルス/ライツ(※1)	1	2	3
ク. SDGs (持続可能開発目標)	1	2	3
ケ. 育児・介護休業法<2009年改正>	1	2	3
コ. 女性活躍推進法<2019年改正>	1	2	3
サ. 政治分野における男女共同参画推進法<2018年施行>	1	2	3
シ. ストーカー規制法 (ストーカー行為等の規制等に関する法律)	1	2	3
ス. 男女雇用機会均等法	1	2	3
セ. 女子差別撤廃条約	1	2	3
ソ. 文京区男女平等参画推進条例	1	2	3
タ. 文京区パートナーシップ宣誓制度	1	2	3

※1 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康を守る権利) とは、女性が身体的・精神的・社会的な健康を維持し、女性の健康支援を推進するために必要な考え方。(例) 子どもを産むかどうか、いつ産むか、どれくらいの間隔で産むかなどについて、すべてのカップルと個人が自ら選択し決定する権利。

4 就労・職場について

問8 あなたは、現在どのような職業に就いていますか。2つ以上の仕事に就いている方は、主なものを1つだけ選んでください。(○は1つ)

1. 自営業・自由業 2. 家族従業者 3. 常勤の正規社員・職員 4. パート・アルバイト・契約社員・派遣社員 5. 企業経営者・役員	6. 家事・育児・介護などに専念している 7. 学生 8. その他 (具体的に) 9. 職業には就いていない
--	---

5 ページの問 8-1・問 8-2 へ

6 ページの問 8-3 へ

問 8-1 【現在、就業している方（問 8 で 1～5 を選んだ方）のみご回答ください】あなたの職場では、次のようなことがあると感じますか。 ○はいいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 募集・採用に男女格差がある | 8. 男性が育児や介護に関する休業制度を利用しにくい |
| 2. 賃金に男女格差がある | 9. 女性が育児や介護に関する休業制度を利用しにくい |
| 3. 昇進・昇格に男女格差がある | 10. 正社員と同じような仕事をしているのに、パート等の待遇が劣っている |
| 4. 配置に男女格差がある | 11. 会社は、積極的に女性の登用を図っている |
| 5. 教育訓練・研修に男女格差がある | 12. 性別にかかわらず、時間外労働や深夜勤務がある |
| 6. 定年退職に男女格差がある | 13. 特にない |
| 7. 女性が結婚や出産で退職しなければ
ならないような雰囲気がある | |

問 8-2 【現在、就業している方（問 8 で 1～5 を選んだ方）のみご回答ください】次の勤務形態や取組のうち、就労先で現在、行われているものはありますか。また、今後行ってほしいものはありますか。 (それぞれ○はいいくつでも)

①現在、行われているもの

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 長時間労働の是正（ノー残業デーの実施、業務時間外会議の禁止） |
| 2. 有休・育休等休暇取得の奨励 |
| 3. 短時間勤務などの環境整備 |
| 4. テレワーク（在宅勤務）の導入 |
| 5. フレックスタイムなどの勤務形態の多様化 |
| 6. 同一労働同一賃金の実現 |
| 7. 副業・兼業の容認 |
| 8. 1～7で行われている取組はない |

②今後、行ってほしいもの

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 長時間労働の是正（ノー残業デーの実施、業務時間外会議の禁止） |
| 2. 有休・育休等休暇取得の奨励 |
| 3. 短時間勤務などの環境整備 |
| 4. テレワーク（在宅勤務）の導入 |
| 5. フレックスタイムなどの勤務形態の多様化 |
| 6. 同一労働同一賃金の実現 |
| 7. 副業・兼業の容認 |
| 8. 希望する取組はない |

問 8-3 【現在、就業していない方（問 8 で 6～9 を選んだ方）のみご回答ください】あなたが働いていない理由は、どのようなことですか。 (○はいくつでも)

1. やりたい仕事が見つからないから
2. 勤務時間・年齢など、条件の合う仕事が見つからないから
3. 就職活動しているが、まだ採用が決まっていないから
4. 学業・資格取得の勉強・仕事の技能を身に付けるために準備をしているから
5. 仕事と家事・育児・介護との両立が難しいから
6. 健康または能力に不安があるから
7. 家族の理解・協力を得られないから
8. 趣味や社会活動など他にやりたいことがあるから
9. 経済的に働く必要性がないから
10. 税法上の優遇（配偶者控除等）等を受けたいから
11. その他（具体的に)

問 9 あなたは、性別にかかわらず働きやすい職場環境をつくるために、どのようなことが重要だと思いますか。 (○は3つまで)

1. 性別による賃金格差を是正する
2. 女性の管理職を増やすなどの積極的な改善措置（ポジティブ・アクション）(※2)の導入を進める
3. 労働時間の短縮などの労働条件を改善する
4. ワークシェアリング（雇用維持・労働時間短縮のため、仕事を分かち合うこと）などの雇用システムを導入する
5. テレワーク（在宅勤務）を導入する
6. 職種による性別の偏りをなくし、職場配置の公平化を図る
7. 技術や技能の取得の機会を増やす
8. 会社が従業員の状況を理解し、一人一人に応じた処遇や働き方を導入する
9. ハラスメント(※3)の防止・根絶をする
10. その他（具体的に)
11. 分からない

※2 固定的な性別役割分担意識や過去の経緯から、「営業職に女性はほとんどいない」「課長以上の管理職は男性が大半を占めている」等の性別格差が労働者の間に生じている場合、このような差を解消しようと、個々の企業が行う自主的かつ積極的な取組

※3 セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメント、SOGI ハラスメント等

5 女性の活躍について

問 10 あなたは、女性が仕事を持って働き続けることについて、どのように感じていますか。

(○は3つまで)

1. 女性が男性と対等に仕事をするのは良いことだ
2. 結婚したり、子どもが生まれたら、女性は家庭を優先すべきだ
3. 女性が出産をしても働き続けることで、男性の働き方も変わってきた
4. 子育てを支援するための職場環境や社会環境が整備されてきた
5. 女性の感性や発想が仕事に取り入れられ、職場が活性化した
6. 女性の上司が増えて抵抗を感じる
7. 仕事と家庭の両立のために女性の負担が増えている
8. 女性が働き続けることで、男性の育児や介護、家事などの参画が増えてきた
9. その他（具体的に _____)
10. 分からない

問 11 あなたは、雇用分野における女性の管理職の登用など、女性の参画を促すには、どのような支援が必要だと思いますか。

(○は3つまで)

1. 企業における女性の採用・登用の促進
2. 女性の登用について具体的な目標値の設定
3. 女性のロールモデルの発掘・活躍事例の提供
4. 女性が働き続けていくことのできる相談体制の充実
5. 男女平等参画に積極的に取り組む企業への支援
6. 女性の管理職への支援
7. 男性の働き方の見直し（育休・介護休暇取得率の向上等）
8. その他（具体的に _____)
9. 分からない

6 家庭生活と社会生活の両立について

問 12 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）についての考え方で、あなたの希望と現実（現状）に最も近いものを1つずつ選んでください。（それぞれについて○は1つ）

希望	現実（現状）
1. 仕事を優先	1. 仕事を優先
2. 家庭生活を優先	2. 家庭生活を優先
3. 個人の生活を優先	3. 個人の生活を優先
4. 仕事と家庭生活をともに優先	4. 仕事と家庭生活をともに優先
5. 仕事と個人の生活をともに優先	5. 仕事と個人の生活をともに優先
6. 家庭生活と個人の生活をともに優先	6. 家庭生活と個人の生活をともに優先
7. 仕事と家庭生活と個人の生活をともに優先	7. 仕事と家庭生活と個人の生活をともに優先

問 13 あなたは、社会全体としてワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を図る上で、どのようなことが重要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------|-------------------------------|
| 1. 育児・介護に関する社会的サポートの充実 | 9. 家族や地域の人の理解 |
| 2. 職場の両立支援制度の充実 | 10. 取引先の会社のワーク・ライフ・バランスに対する理解 |
| 3. 長時間労働を見直すこと | |
| 4. 法律や制度の充実 | 11. その他 |
| 5. 性別による昇進、待遇の格差を無くすこと | （具体的に） |
| 6. 男性による家事・育児・介護を進めること | |
| 7. 個人の意識改革や努力 | |
| 8. 職場の理解やトップの意識改革 | 12. 分からない |

問 14 あなたは、法律に基づく育児や介護における休業・休暇等を取得しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

- | | |
|--|---|
| 1. 職場に取得しやすい雰囲気があること | |
| 2. 以前に育児休業や介護休業、短時間勤務などを取得した人の例があること | |
| 3. 上司や同僚などの理解や協力があること | |
| 4. 休業中の賃金や手当などの経済的支援があること | |
| 5. 育児休業や介護休業などを利用したことによって、昇進や昇格に影響が出ないこと | |
| 6. 休業中の代替要員が確保されること | |
| 7. 復帰後に同じ仕事が保障されること | |
| 8. その他（具体的に | ） |
| 9. 特にない | |
| 10. 分からない | |

問 15 あなたにとって、育児や介護中に希望する働き方は次のうちどれですか。 (〇は1つ)

- | | |
|--|---|
| 1. 育児休業・介護休業・短時間勤務制度等の両立支援制度を利用しながら、正社員として働く | |
| 2. 両立支援制度を利用せず、自身で働き方を工夫して、正社員として働く | |
| 3. パートタイマーや契約社員への転換など、柔軟に働き方を変えながら、同じ職場で働く | |
| 4. 育児・介護の期間はいったん退職し、時期を見て復帰する | |
| 5. 退職して、育児・介護に専念する | |
| 6. その他（具体的に | ） |
| 7. 分からない | |

7 地域活動、社会活動への参画について

問 16 あなたが、この1年間に参加した地域活動や社会活動は、次のうちどれですか。

(○はいくつでも)

1. 町会や自治会の活動	5. NPO、ボランティアなどの活動
2. 保護者会やPTA活動	6. その他
3. 子どもや青少年のスポーツ指導等の 健全育成活動	〔 具体的に 〕
4. 地域における趣味・学習・スポーツ活動	

問 16-1 【問 16 で「7 (この1年間に参加したものはなし)」を選んだ方のみご回答ください】

あなたが地域活動・社会活動に参加していない理由は、どのようなことですか。

(○はいくつでも)

1. 時間的余裕がない	8. 健康に不安がある
2. 参加したい活動がない	9. 経済的余裕がない
3. どのような活動があるのか分からない	10. 関心がない
4. 参加方法が分からない、きっかけがない	11. その他
5. 人間関係がわずらわしい	〔 具体的に 〕
6. 家族の協力・理解が得られない	
7. 育児や介護があるため出かけにくい	

問 17 あなたの住んでいる地域では、町会・自治会やPTAなどの地域活動における会長等の役職者は、男性と女性のどちらになることが多いですか。 (それぞれ○は1つ)

①町会・自治会

1. 会長は男性と決まっている	4. 会長は女性になることが多い
2. 会長は男性になることが多い	5. 会長は女性と決まっている
3. 男性も女性と同じくらい会長になっている	6. 分からない

②小・中学校のPTA

1. 会長は男性と決まっている	4. 会長は女性になることが多い
2. 会長は男性になることが多い	5. 会長は女性と決まっている
3. 男性も女性と同じくらい会長になっている	6. 分からない

問 18 あなたは災害時に備えた男女双方の視点を取り入れた防災対応として、どのようなことが重要だと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 女性や子どもに対する暴力の防止策を講じたり、プライバシーに配慮した相談窓口を設置する
2. 防災分野の委員会や会議に、より多くの女性が参加できるようにする
3. 災害対応や復興において男女平等参画の視点で対応できるよう、性別を問わずリーダーを育成する
4. 災害に関する各種対応マニュアルなどに男女平等参画の視点を入れる
5. 消防職員・消防団員・警察官・自衛官などについて、防災現場に女性が十分に配置されるよう、採用・登用段階を含めて留意する
6. 避難所の設備や備品に女性やLGBTQ等の意見を反映させる
7. その他 (具体的に)
8. 分からない

8 政策決定過程への女性の参画について

問 19 あなたは、女性の意見が国や自治体の行政にどの程度反映されていると思いますか。 (〇は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 十分反映されている | 3. あまり反映されていない |
| 2. ある程度反映されている | 4. ほとんど反映されていない |
| | 5. 分からない |

問 19-1 【問 19 で 3 又は 4 を選んだ方のみご回答ください】 反映されていない理由は、どのようなことだと思いますか。 (〇は3つまで)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 女性議員が少ない | 6. 社会のしくみが女性に不利である |
| 2. 公務員の女性管理職の割合が低い | 7. 女性の能力に対する偏見がある |
| 3. 政策決定に関わる審議会などへの女性の参画が少ない | 8. その他 |
| 4. 女性が消極的である | (具体的に) |
| 5. 行政職員の意識、理解が足りない | 9. 分からない |

問 20 あなたは、政治の場や仕事の場において、政策や方針決定の過程に女性があまり進出していない原因は、どのようなことだと思いますか。 (〇はいくつでも)

1. 家庭・職場・地域において性別役割分担の意識が強いこと
2. 男性優位に組織が運営されていること
3. 家庭の支援・協力が得られないこと
4. 女性が能力を発揮できる機会が少ないこと
5. 女性が積極的に参加していかないこと
6. その他 (具体的に)
7. 分からない

問 21 あなたは、地域活動における女性リーダーを増やすためには、どのようなことが必要だと思いますか。 (〇は2つまで)

1. 男性中心の社会通念や慣習を改めるための啓発活動を実施する
2. 女性のリーダーを養成するための講座やセミナーを開催する
3. 育児や介護を支援するための施策を充実させる
4. 家族で家事・育児を分担する
5. 様々な人が参加しやすいよう、活動時間帯を工夫する
6. 地域活動のリーダーとなる女性の割合を決めるような取組を進める
7. その他 (具体的に)
8. 分からない

9 健康について

問 22 からだの健康についてお聞きします。あなたは、最近1年間にどこかで健康診断を受けましたか。 (〇は1つ)

1. 加入健康保険 (国民健康保険、健康保険組合、共済組合等) の健康診断で受けた
2. 自費で医療機関に行って受けた
3. 受けなかった
4. その他 (具体的に)

問 22-1 【問 22 で「3 (受けなかった)」を選んだ方のみご回答ください】受けなかった理由はどのようなことですか。 (〇はいくつでも)

1. 健康であるから
2. 仕事で忙しいから
3. 育児で忙しいから
4. 介護で忙しいから
5. 現在通院しているから
6. 毎年受ける必要がないから
7. 受ける機会がないから
8. その他
(具体的に)

問 23 女性が自分の健康を守り、性や妊娠・出産に関して自分の意志で決める上で、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。 (〇は3つまで)

1. 子どもの成長と発達に応じた性の多様性を含めた性教育
2. 性や妊娠・出産についての情報提供・相談体制の充実
3. 喫煙や飲酒、薬物等の健康への害についての情報提供・相談体制の充実
4. HIVなどの性感染症についての情報提供・相談体制の充実
5. 女性の健康に関する情報提供・相談体制の充実
6. 女性専門医療に関する情報提供
7. その他 (具体的に)
8. 分からない

10 人権問題について

問 24 あなたは、ここ1年以内に次のハラスメントを受けた経験がありますか。 (○は1つ)

	家庭で 受けた	職場で 受けた	学校で 受けた	受けたこ とはない
1. セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4
2. パワー・ハラスメント	1	2	3	4
3. マタニティ・ハラスメント	1	2	3	4
4. 育児休業、介護休業に係るハラスメント	1	2	3	4
5. モラル・ハラスメント	1	2	3	4
6. SOGI (性的指向・性自認) ハラスメント	1	2	3	4
7. その他 (具体的に)	1	2	3	4

問 24-1 【問 24 のいずれかのハラスメントを受けたことがある方のみご回答ください】あなたが受けたハラスメントについて、どなたかに相談したことはありますか。 (○は1つ)

1. 相談した	2. 相談しなかった (できなかった)
---------	---------------------

問 24-2 【問 24-1 で「1. 相談した」と答えた方のみご回答ください】そのとき、どこ (だれ) に相談しましたか。 (○はいくつでも)

1. 家族	5. 役所の相談窓口・電話相談など
2. 友人・知人	6. その他の公共機関
3. 労働基準監督署	7. その他
4. 警察	(具体的に)

問 24-3 【問 24-1 で「2. 相談しなかった (できなかった)」と答えた方のみご回答ください】相談できなかった、相談しなかったのはなぜですか。 (○はいくつでも)

1. 相談できる人がいなかったから
2. どこに相談してよいのか分からなかったから
3. 相談することで人に知られるのではないかと心配だったから
4. 人に打ち明けることに抵抗があったから
5. 相談しても無駄だと思ったから
6. 我慢すればこのまま何とかやっていけると思ったから
7. 自分にも悪いところがあると思ったから
8. 他人を巻き込みたくなかったから
9. 相談するほどのことではないと思ったから
10. その他 (具体的に)

問 25 あなたは、これまでの生活のなかで、「女らしくしなさい」「男はこうすべきだ」等といった性別役割（ジェンダー含む）について悩んだり、疑問を感じたり、嫌な思いをしたことや、身近な人が悩んでいる場面に遭ったことがありますか。 (○は1つ)

1. ある	2. ない
-------	-------

問 25-1 【問 25 で「1. ある」と答えた方のみご回答ください】それはどのような場面でしたか。自由にお書きください。

問 26 あなたは、次にあげる日本の社会における人権及び人権に関わる問題について、どの程度人権が尊重されていたり、支援や防止対策がなされていると思いますか。

(ア～ケのそれぞれについて、当てはまる「1～5」に○を1つ)

	十分になされて いる	ある程度なされて いる	あまりなされて いない	なされていない	分からない
ア. トランスジェンダーの人（出生時に登録された性別に違和感がある人）の人権の尊重	1	2	3	4	5
イ. 性的指向（どのような性別の人を好きになるか、ならないかということ）に関する人権の尊重	1	2	3	4	5
ウ. 性的指向や性自認に関する差別の禁止や防止策	1	2	3	4	5
エ. ストーカー被害や性被害に遭った人への支援体制	1	2	3	4	5
オ. ストーカー被害や性被害に遭わないための防止策	1	2	3	4	5
カ. マタニティ・ハラスメント防止への対策	1	2	3	4	5
キ. JK ビジネス(※4)や AV 出演強要等への対策	1	2	3	4	5
ク. 幼児・児童ポルノやリベンジポルノ(※5)等のメディアによる被害拡散防止への対策	1	2	3	4	5
ケ. 児童虐待（身体的虐待・性的虐待・養育放棄や怠慢・心理的虐待）に関する防止策	1	2	3	4	5

※4 女子高校生（JK）をはじめ、児童の性を売り物とする営業行為のことを指す。健全な営業を装いながら、性的なサービスを提供させるものが存在する。

※5 本人の同意を得ずに、ヌード、性的な画像又は動画をインターネットなどにいやがらせの目的で公開する性的暴力のことを指す。

問 27 テレビ、ラジオ、インターネット、映画、新聞、雑誌、広告などのメディアにおける性や暴力表現について、あなたはどのように感じていますか。 (○はいくつでも)

1. 女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている
2. 女性の性的な面を強調する表現が目立つ
3. 男性の暴力的な側面を強調する表現が目立つ
4. 性的な暴力や性犯罪の増加につながる表現がみられる
5. 子どもや性的表現を望まない人への配慮が足りない
6. メディア全体において、性や暴力に関する倫理条項が守られていない
7. その他 (具体的に _____)
8. 特に問題はない
9. 分からない

11 性の多様性について

問 28 あなたは、身近な人 (職場の同僚、友人、親戚や家族、近所の知人) に L G B T Q 等の人はいますか (○は1つ)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. いる | 3. いない | 5. 分からない |
| 2. いると思う | 4. いないと思う | |

用語の説明

L G B T Q	<p>LGBT とは、L=レズビアン、G=ゲイ、B=バイセクシュアル、T=トランスジェンダーの頭文字をつないだ言葉で性的マイノリティを意味します。なお、トランスジェンダーについては医学上の診断名「性別違和 (性同一性障害)」がありますが、医学的な診断・治療を求めない人もいます。また、末尾に、LGBT には収まり切れない (異性愛規範を問い直す) Q=クィア、あるいは自身の性別や性的指向にゆれを感じたり、特定できないと考える Q=クエスチョニングなど、様々な性的マイノリティの頭文字が加えられることもあります。</p>
------------------	--

問 29 あなたは、身近な人から L G B T Q 等であることを打ち明けられた場合、これまでと変わりにくく接することができそうですか。 (○は1つ)

- | | | |
|---------|---------------|----------|
| 1. できそう | 2. できないかもしれない | 3. 分からない |
|---------|---------------|----------|



問 29-1 【問 29 で「2. できないかもしれない」「3. 分からない」と答えた方のみご回答ください】それはなぜだと思いますか。 (○はいくつでも)

1. LGBTQ 等について知識がない
2. 身近にいないので、どう対応してよいか分からない
3. 驚きのほうが強い
4. なにげない言葉で傷つけてしまうのが怖い
5. 認めるべきだと思うが、気持ちがついていかない
6. その他 (具体的に _____)

12 暴力の防止について

問 30 配偶者・パートナー又は交際相手などからの暴力についての公的な相談機関として、あなたがご存知のところはどちらですか。(〇はいくつでも)

1. 文京区の女性相談（生活福祉課）	7. 女性の人権ホットライン（東京法務局）
2. 文京区男女平等センター相談室	8. その他
3. 文京区配偶者暴力相談支援センター	（具体的に）
4. 警察（生活安全課等）	
5. 東京都女性相談センター	
6. 東京ウィメンズプラザ	
	9. どれも知らない

問 31 あなたは、配偶者・パートナー又は交際相手などとの間で、次のような行為を受けたり、行為をしたことがありますか。

(ア～エのそれぞれについて、当てはまる「1～3」と「4～6」に〇を1つずつ)

	行為を受けた			行為をした		
	何度もある (あった)	1、2度ある (あった)	全くない	何度もある (あった)	1、2度ある (あった)	全くない
ア. 身体的暴行 (なぐる、蹴る、物を投げつける、水をかける、突き飛ばすなど、身体に対する暴行)	1	2	3	4	5	6
イ. 心理的攻撃 (長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、脅迫や人格を否定するような言動)	1	2	3	4	5	6
ウ. 経済的圧迫 (生活費を渡さない、貯金を勝手に使われる、外で働くことを妨害・強要されるなど)	1	2	3	4	5	6
エ. 性的強要 (いやがっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に協力しないなど)	1	2	3	4	5	6

問 31-1 【問 31 のいずれかの行為を配偶者などから受けたことがある方のみご回答ください】

あなたが受けた暴力について、どなたかに相談したことはありますか。(〇はいくつでも)

1. 警察	8. 親族
2. 法務局の人権相談窓口、人権擁護委員	9. 友人・知人
3. 東京ウィメンズプラザや東京都女性相談センター	10. その他
4. 区の窓口、男女平等センター相談室	（具体的に）
5. 民生委員	
6. 民間機関（弁護士会など）	11. 相談したかったが、できなかった
7. 医師	12. 相談しようとは思わなかった

16 ページの間 31-2 へ

問 31-2 【暴力の被害を相談できなかった、しなかった方（問 31-1 で 11 又は 12 を選んだ方）のみご回答ください】 相談できなかった、相談しなかったのはなぜですか。 （○はいくつでも）

- | | |
|------------------------------------|------------------------|
| 1. 相談できる人がいなかったから | 7. 自分にも悪いところがあったから |
| 2. どこに相談してよいのか分からなかったから | 8. 他人を巻き込みたくなかったから |
| 3. 相談することで人に知られるのではな
いかと心配だったから | 9. 相談するほどのことではないと思ったから |
| 4. 人に打ち明けることに抵抗があったから | 10. その他 |
| 5. 相談しても無駄だと思ったから | （具体的に |
| 6. 我慢すればこのまま何とかやっていけると思ったから | |

問 32 あなたは、配偶者、パートナー又は交際相手からの暴力や様々な悩みなどに関する相談窓口などで配慮してほしいと思うことは何ですか。 （○はいくつでも）

- | | |
|--|------------------------------------|
| 1. メールによる相談ができる | 9. 匿名で相談ができる |
| 2. LINEなどのSNSによる相談ができる | 10. 弁護士など、法的知識のある相談員がいる |
| 3. 電話による相談ができる | 11. 臨床心理士、公認心理士など、心理専門
職の相談員がいる |
| 4. 通話料が無料 | 12. その他 |
| 5. 24 時間相談ができる | （具体的に |
| 6. 相談内容に応じて、最も適した他の窓口へ
引き継ぐなど、窓口同士の相互連携 | |
| 7. 同性の相談員がいる | 13. 特にない |
| 8. 性の多様性の知識がある相談員がいる | 14. 分からない |

問 33 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV）に対する対策や援助として、特にどのようなものを充実すべきだと思いますか。 （○は3つまで）

- | | |
|---|---|
| 1. 家庭内であれ、暴力は犯罪であるという意識の啓発 |) |
| 2. 若年層に向けた教育の充実 | |
| 3. 被害者への保護や支援に関わる組織の紹介など、DV についての様々な情報提供 | |
| 4. 性別にかかわらず、いざという時に被害者が駆け込める緊急避難所（シェルター）の整備 | |
| 5. 警察の対応による被害者の緊急保護と安全策の充実 | |
| 6. 緊急時の相談体制 | |
| 7. 被害者の住居や就労あっせん、経済的援助など、生活支援の充実 | |
| 8. 被害者のカウンセリングや日常的な相談など、精神的援助の充実 | |
| 9. 被害者の保護や支援に関わる組織や職員の充実 | |
| 10. 離婚調停・訴訟への支援など、法的なサポートの充実 | |
| 11. 加害者に対する厳正な対処 | |
| 12. カウンセリングなど、加害者の更生に関する対応の充実 | |
| 13. その他（具体的に | |
| 14. 分からない | |

13 男女平等参画の推進施策・男女平等センターについて

問 34 文京区には、男女平等参画社会構築のための拠点施設として「文京区男女平等センター」(所在地：文京区本郷四丁目)があります。あなたは、文京区男女平等センターを利用したことがありますか。(〇は1つ)

1. 利用したことがある
2. 男女平等センターのことは知っているが、利用したことはない
3. 男女平等センターがあることを知らなかった

問 35 あなたは、男女平等参画社会を実現していくために、今後、文京区はどのようなことに力を入れるとよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 学校における男女平等教育の推進
2. 男女平等参画に関する講座・講演会など学習機会の充実
3. 男女平等に関する情報提供の充実
4. 起業や労働についての情報交換の場の提供や相談
5. 女性の自立に向けた職業教育・訓練に関する情報の提供
6. 就労機会や労働条件の男女格差を是正するための企業への働きかけ
7. 子どもや女性が安心して暮らせる防犯に配慮したまちづくり
8. 子育て・育児に関する支援の充実
9. 審議会等への女性の積極的な登用
10. 行政の政策決定などへの女性の参画促進
11. 高齢者・障害者介護に関する支援の充実
12. 健康支援のための検診体制や相談などの充実
13. 自分自身の生き方や性別への悩みに関する相談の場の提供
14. 在留外国人とのシンポジウムの開催など、国際社会の理解推進
15. 男女平等の意識向上に向けた区と企業やNPOなどとの協力体制の拡充
16. その他(具体的に)
17. 特にない

問 36 最後に、文京区の男女平等参画推進施策について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にご記入ください。

あなたご自身についてお伺いします

次のF 1～F 6について、当てはまる数字に○をつけてください。 ※○は1つ

F 1 性別	1. 男性	2. 女性	3. その他の性自認
F 2 年齢	1. 18～19 歳 2. 20～24 歳 3. 25～29 歳 4. 30～34 歳 5. 35～39 歳	6. 40～44 歳 7. 45～49 歳 8. 50～54 歳 9. 55～59 歳	9. 60～64 歳 10. 65～69 歳 11. 70～74 歳 12. 75 歳以上
F 3 世帯構成	1. 一人暮らし 2. 配偶者との二人暮らし（夫婦・事実婚・同性パートナー） （一世代世帯） 3. 親と未婚の子ども（核家族） 4. 親と子ども夫婦（二世帯世帯）	5. 親と子どもと孫（三世帯世帯） 6. その他 （具体的に）	
F 4 婚姻状況 （事実婚を含む）	1. 結婚している 2. 同性パートナーとの宣誓	3. 現在は結婚していない（離別・死別など） 4. 結婚したことがない	
F 4-1 就労状況	1. 共働き（パート・アルバイトを含む）である 2. 共働きではない		
F 5 子育ての有無	1. 子育てしている（下記の該当する項目全てに○を付けてください。） ↳ 未就学児 小学生 中学生 高校生 短大、各種学校、大学、大学院生 学校を卒業している その他（具体的に）	2. 子育てしていない	
F 6 介護の有無	1. 家族・親族の介護をしている（下記の該当する項目に○を付けてください） ↳ （主に家庭 主に介護施設 家庭と介護施設を併用）	2. 家族・親族の介護をしていない	

以上で終わりです。お忙しいところ、アンケートにご協力をいただきまして、ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**9月23日(水)**までにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。